

(毎月10日・25日発行)

復興ニュース

132号
2015年
4月1日
メール

発行：NPO 法人夢ネット大船渡
大船渡市盛町字内の目14-15
HP「夢ネット大船渡」と検索を
メール npoyumenet@bz01.plala.or.jp

東日本大震災から4年が経ちました



2011年3月11日午後2時46分に発生した東日本大震災は東北地方を中心に甚大な被害をもたらしました。

岩手県内だけで5122人の死者を出し(震災関連死含む)、今なお1129人の方が行方不明となっています。

各地で追悼式が行われ、犠牲者の冥福を祈りました。大船渡市では3月11日にリアスホールで追悼式が行われ、遺族らが参列。地震発生時刻には、黙とうがささげられました。陸前高田市では3月8日に高田小学校体育館で実施されました。

◎陸前高田市小友町で法要

陸前高田市小友町茗荷にあるお地藏様の前で3月11日、中尊寺の僧侶である破石澄元さんが法要を行いました。破石さんは東日本大震災の月命日である毎月11日に、法要のため陸前高田市を訪れています。破石さんは「突然災害によって命を奪われた人たちの無念な思い、魂を慰めていきたい」と話していました。このお地藏さまは大阪の彫刻師で一般社団法人元気人間製造研究所の事務局長である中西保裕さんが寄贈したものです。管理は地元の方が行っています。

この日は風が強い一日でした。なんだか、故人の魂が「忘れないで！」と叫んでいるようでした。

展覧会 よみがえる大船渡

大船渡市立博物館で5月17日まで、「展覧会 よみがえる大船渡」が開催されています。

大船渡市民の家庭に眠っている、東日本大震災前に大船渡で撮影された映像や音源など貴重な資料を展示しています。

展示内容：大船渡を描いた水彩画の展示、かつての大船渡を撮影したフィルムの上映、大船渡市民が撮影した8ミリフィルムを収集してつくられた記録映画「よみがえる大船渡」の上映など

※「東日本大震災被災状況写真展 Part2」～ 3.11 巨大津波襲来。大船渡の1000時間。～ も開催中です。

開館時間：9：00～16：30

休館日：毎週月曜日、祝日

入館料：一般300円、高校生以下は無料



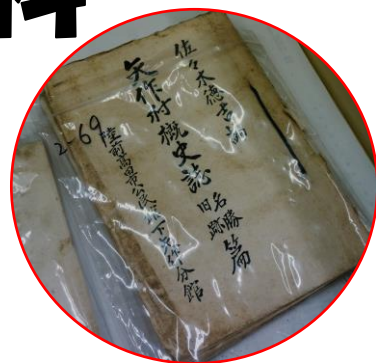
＝お知らせ＝

今号から毎月1回、1日の発行となりました。今後ともご愛読のほど、よろしくお願い致します。次号は5月1日、発行予定です。

陸前高田の被災資料 見事に復活!!

東日本大震災から4年。震災で職員全員が犠牲となり、蔵書8万冊がすべて流出した陸前高田市立図書館。

地元で愛されてきた図書館を復活させようようと、多くの方々が尽力しています。東京都立中央図書館もその一つです。



▼被災図書は東京へ

瓦礫の中から発掘、救出された貴重な書物たち。これらの本は搬送先の岩手県立博物館で応急措置が施されました。その後、陸前高田市立図書館から依頼を受けた東京都立中央図書館が被災図書の修復に協力することになり、2013年に51点、2014年8月に83点の被災資料を受け入れました。

同図書館では2月28日から3月11日まで、「大津波からよみがえった郷土の宝 - 陸前高田市立図書館 郷土資料の修復展 -」を開催。今回の展示では2013年に受け入れ、修復が完了した郷土資料51点が展示されました。



東京都立中央図書館で行われた展示

▼地道で根気のいる修復作業

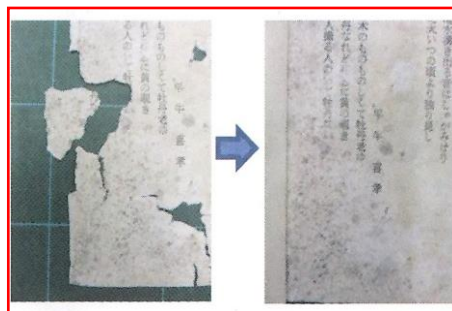
被災資料は解体、ドライクリーニング、消毒、洗浄、補修、再製本など多くの工程を経て修復されます。破れた部分をつなぎ合わせ、欠けている部分は和紙で補修します。何十ページとある資料を1枚1枚、キレイにしていく作業は、地道でとても根気がいる作業です。



ドライクリーニング作業



消毒作業



ページの欠損を修復

▼被災図書は亡くなった人の形見…

東京都立中央図書館の資料保全専門員である眞野節雄さんに話を伺いました。眞野さんは「陸前高田市の歴史を後世に残して、図書館職員たちの想いを手助けしたいと作業を進めてきました。修復した図書、1冊1冊がとても愛おしい。これらの書物はなにか…亡くなった図書館職員の大切な形見のように思うのです。私たちは被災地へ行って復興支援をすることはできませんが、本の修復作業は私たちにしかできない支援です」と話しておりました。

▼3月20日、修復された郷土資料が陸前高田市に返還されました。

陸前高田市役所で3月20日、修復された郷土資料の返還セレモニーが実施されました。セレモニー終了後、市役所の会議室で返還された資料を展示。市民や市役所職員らが訪れ、郷土資料や児童らの作文集などを懐かしそうに手に取っていました。

残りの被災資料は平成28年度までに修復が完了する予定です。

変化する被災者の声

ヒューマンライツ・ナウの
アンケート調査

大船渡市で毎月無料法律相談を開催しているNPO法人ヒューマンライツ・ナウ（東京都）が、昨年11月に実施したアンケートがまとめ、3月6日東京都渋谷勤労福祉センターで報告会が開催されました。



この調査には夢ネット大船渡が協力しました。また、東京の報告会にはNPO法人夢ネット大船渡の岩城理事長が出席し、大船渡の被災者の現状を報告しました。

●経済的な困難者が多い

①経済的な困難を抱えた被災者が多い。②被災により無職となり現在も職を得られていない人が一定数いる。③震災前と現在を比較して世帯収入が下がっている人が多い。④被災によって収入が減り、それに合わせて生活費を切り詰めている世帯が多い。⑤東北人特有の我慢強さから、生活保護の受給を考えない等々。

●被災者の住宅問題

①現在入居している仮設住宅は、部屋数や部屋のスペース等の問題で困っている。②建設から4年になり仮設住宅が傷んでいる。防寒対策が不十分である。③災害公営住宅への入居の障害は、家賃が発生する、買い物や通院に不便である。④遅れている災害公営住宅や防災集団移転が早く進展することが望まれる等々。

家賃の発生等に対しては、家賃の減免制度のさらなる拡充制度が望まれる。また、仮設住宅の入居期限の柔軟な対応、傷んでいる仮設住宅の補修等も必要になっている。

●ヒューマンライツ・ナウから国や自治体へ政策提言

調査したヒューマンライツ・ナウでは、国や自治体に対して「勧告」という形で、時間の経過に伴って変化する被災者のニーズに適切に対応するため、被災者支援施策や被災者に密接に関わる復興計画等の施策の策定・実施に当たり、これまで以上に被災者の意見・ニーズを反映させる仕組みを構築していきたいと報告しました。

注：ヒューマンライツ・ナウは、平成23年10月からこれまでに大船渡市で無料法律相談を63回開催し、305件の相談に対応しました。同法人は気仙沼市でも無料法律相談を行っています。

ここにも心の復興

中上仮設の皆さん、有住小卒業生へプレゼント

3月9日住田町中上仮設（柳下八七自治会長）入居者らは、有住小学校（佐々木英雄校長）を訪問し、これまで有住小学校の生徒さん方から激励の手紙や花プランターを贈って頂いたお礼にと、卒業生15人へ手芸品（ティベア・ふくろう・貝細工）を一人ひとりへ手渡しました。

当日学校を訪問したのは、手芸品を作った村上智子さん、及川ケイ子さん、柳下るいさんの3人。

皆で相談した結果、支援のお礼に手芸品を卒業生へ贈ることにし、手芸講習で覚えた手芸品を手分けして作りました。手芸品を受け取った畠山千夏さんは「可愛くてうれしかった。部屋に飾ります」と話していました。

一昨年から夢ネット大船渡がジャパン・プラットフォームの助成を受けて、1ヵ月10数カ所の仮設住宅（気仙2市1町）で手芸講習を開催していますが、その1ヶ所が中上仮設でした。

贈答に立ち会った岩城理事長は、「夢ネット大船渡の開催の手芸講習が地域の方々の温かい交流に役立って、こんなにうれしいことはない」と話していました。



三鉄盛駅ふれあい待合室からのご案内 TEL0192-47-3542

◆三鉄に乗って行く陶芸教室 《申し込み必要》

4月11日(土) 8:50に盛駅集合
9:13盛駅発-9:35甫嶺駅着→ 越喜来小学校の窯で作業→
14:38甫嶺駅発-15:02盛駅着
参加費3000円(往復乗車券、材料費、弁当代) 締め切り4月8日(水)
定員15名 持ち物:エプロン

◆お花見列車 《申し込み必要》

車窓から見える沿線の桜を楽しみましょう♪
4月21日(火)、4月23日(木)の2日間 10:30に盛駅集合
11:00盛駅発-釜石駅-13:00盛駅着
参加費1500円(乗車券、弁当代) 締め切り4月17日(金)
飲食物の持ち込み自由 定員:各日50人

◆三鉄 駅からウォーキング 《申し込み必要》

4月26日(日) 8:30に盛駅集合
9:13盛駅発-唐丹駅-15:02盛駅着
唐丹駅で、3年に一度の桜まつり、大名行列を鑑賞
参加費800円(往復乗車券、保険代) 締め切り4月23日(木)

◆三鉄 駅弁列車 《申し込み必要》

4月27日(月) 11:00に盛駅集合
11:25盛駅発-釜石駅-13:25盛駅着
参加費2500円(乗車券、駅弁代) 締め切り4月21日(火)
新型レトロ車両使用 飲食物の持ち込み自由 定員48人

童謡・唱歌をうたう会 参加者を募集

童謡や唱歌は私たちの心のふるさと。一人で歌うのも良いですが、仲間と一緒に歌うのも楽しいものです。ご自身の声に自身のない方、楽譜が読めない方でも大丈夫です。

この会は集まった皆さまと一緒に歌うこと、楽しむことに重きを置いています。歌うことで健康増進や心身をリフレッシュすること出来ます。どうぞお気軽にご参加ください!

【日 時】第1、3月曜日 10:00~11:30

(開催日は変更になる場合があります。4月は6日、20日に実施します)

【場 所】福祉の里センター

問い合わせ先:福祉の里センター (TEL0192-27-0294)

ご意見、ご感想をお寄せください

短歌・俳句作品も募集しています。
◎どなたでも応募可能です。
◎電話、メール、封書でお寄せ下さい。
発行元: NPO 法人夢ネット大船渡
*大船渡市盛町字内の目14-15
*TEL/fax 0192-47-3271
*メール npoyumenet@bz01.plala.or.jp

この復興ニュース発行には、MS & ADゆにぞんスマイルクラブのご寄付を受けています。

崎浜仮設で手芸講習



写真は3月19日、大船渡市の崎浜仮設で行われた講習会の様子です。住民7人が参加し、巾着を作りました。